

第2回善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

1 日 時 平成25年10月24日(木) 午後13時30分～15時30分

2 場 所 善通寺市庁舎2階 第1会議室

3 出席者

会 長

委 員 11名

欠 席 3名

4 会議の概要

1. 開会

2. 議事

ニーズ調査の調査票について

3. その他

4. 閉会

5 資料

資料1 ニーズ調査(概要)について

資料2 ニーズ調査票(案)

6 会議録

【1.開会】

【事務局】 報告でございますが、本日、委員2名から、所用によりまして、欠席の届け出が出ておりますので、ご報告いたします。

本日の会議につきましては、委員15名のうち12名参加しておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

本日の会議ですが、あらかじめ先日お配りしております、ニーズ調査票に基づきながら進めていきたいと思っております。

(事前資料の確認)

それでは、早速ですが、議事に入りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【7. 議事】

ニーズ調査の調査票について

[会長] それでは議事の方へ進みたいと思います。まず資料について事務局からご説明いただけますか。

[事務局] (資料説明)

[会長] ありがとうございます。それでは、まず、就学前の調査票で、これから実際に調査をするとして、わからないところ、気になるところ等、皆さんからご意見があれば、と思います。

[委員] 2 ページ問 1 の地区の設問ですが、地区が分からないという人もいると思うので、マップをつけるなどの工夫があるのではないのでしょうか。また、2 ページの間 7 ですが、子育て支援センターが入っていないが、入れたほうが良いのではないのでしょうか。

[事務局] 問 1 については、9 番として、地区が分からない人が書ける項目を追加したいと思います。また、問 7 は、日常的に子育てに関わる方という趣旨なので、子育て支援センターは入れていませんが、その他回答でカバーできるかと考えています。

[委員] 1 ページに、「みなさまからいただいたご回答は、地域の子育て支援の充実にいかされます」とありますが、どこにいかされるのか書かれていません。子育て支援の充実について、具体的な記入はできないのですか。

[事務局] ありとあらゆる幅広いことですので、あくまで子育て支援の充実としか言えません。いろいろなニーズがおありだと思いますが、それらを細かく具体的に聞くものではなく、幅広く子育て支援を充実するための施策に利用させていただくということで、ご理解ください。最初のページにありますように、「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。これが子育て支援をより充実させる制度で、そのために計画を策定するわけです。その計画をつくる上でのニーズ調査だにご理解いただければ、と思います。

[委員] ここを優先して充実させるために就学前児童を対象に調査をするといったような、具体的な理由は一言も書けないのですか。

[事務局] 市の施策をより良いものにするために実施する調査ではありますが、ある特定の目的のために実施するものではありません。善通寺市は子育て支援の分野に力を入れていますが、ここをこうしたいからこの調査をします、というわけではないので。

[委員] つまり、今後の方向性を決めるための調査ですね。

[事務局] 方向性というよりも、子育て支援についてどれくらいの方がどういったものをどのくらい求められているか、そのニーズの質や量を把握するものです。この調査だけで市の方向性を決めるわけではありません。市が目的を定めると、誘導するようなニーズ調査になってしまいます。そうではなく、保護者の方がいったい何を求められているのかを探る調査です。

[委員] そういう趣旨を分かりやすい言葉で入れていただければ、と思います。

[事務局] なるべくかみ砕いた感じに検討してみます。

[委員] この調査と併せて、聞き取りというような形式で保護者の生の声を聞く機会はないのですか。

[事務局] 最後に自由記載の欄がありますので、ご要望やお気持ちをそこに書いていただくか、保育所や幼稚園、あるいは子ども課に直接伝えていただいても良いと思います。ただ、今回のニーズ調査のために保護者の方のお声を伺う機会を別個に設ける予定はございません。

[委員] 今まで善通寺市では市民の皆さまの声をいかしてこういう施策を実施し、ご好評いただいていますというようなことを書けば、このような調査が市の発展や子どもたちのためになると分かって、参加のモチベーションが上がってくると思うのですが。

[委員] たとえば、前回のアンケートをふまえてこういう施策を実施しました、というようなことを書いても良いと思います。

[委員] たとえば、調査票とは別紙で1枚何かあれば、アンケートに参加したら良い形でいかしてもらえるとといった信頼感が生まれるように思いますが、いかがでしょうか。

[事務局] 今回のニーズ調査は、全国で同時に実施いたします。そういう部分から言っても、公平な立場で実施しなければいけないものとなっています。実際、ここだけでなく、県に全て報告しますし、他の市町ともある程度質問の足並みを揃える必要があります。お気持ちは重々分かっておりますし我々も書きたいのですが、誘導する形になってはいけないので、難しいかと思えます。

[委員] 今まで善通寺市が取り組んできた事業や現状を実際に子育てしている方にお知らせすることで、アンケートに答えようという気持ちになってもらえるのだと思います。答えていただくための一つの工夫として、たとえばこの間配られた資料を同封してみるのはいかがでしょうか。この資料によって、善通寺市はこれだけたくさんの方を

てくれていると気付けた乳幼児家庭の保護者の方が多かったと思います。そもそもアンケート一つにしても子どもを抱えてはなかなか書けない現状があるので、いかに回収率を上げていくかを考えて、工夫していくべきではないでしょうか。

[会長] やはり、これは実際に善通寺市で子育てをされている方の現状を把握するための討議なので、じかに生活されている方の声をなるべく多く集めることが重要です。その声を今の段階で出してもらうことで、これから善通寺市が実施すべき子育て支援についての重点施策等が具体的に見えてくると思います。そういう意味で言うと、行政的な考え方でなく、当事者の立場に立って考えるべきでしょう。だから、調査の中身というよりは入り口のところから市民感覚で考えていただいたほうが良いと思います。今まで善通寺市が子育て支援に取り組まれてきたなかで、比較的市も理解があるほうだと私は思うから、そこの部分で考えても、市民の声を施策的にも会議にしても取り入れるのが大事なのでは。

[事務局] それでは、調査への参加のモチベーションアップとともに市のPRも兼ねまして、善通寺市で先進的に行っている部分を別のプリントに記載し、調査票に同封する形を検討します。

[会長] 善通寺市は今まで皆さんの声を聞いてここまで頑張っています、ですからこれからもそれをいかすために皆さんの声をくださいという旨を強調すれば参加していただけるはずなので、そういう方向でお願いします。

[委員] 善通寺市は子育て支援に関してすごく積極的に取り組んでくださっている、と私は思います。ただ、全国的に見ると思うような評価が得られていないので、改めて現状を分析して、新たな視点、進んだ部分で善通寺市のオリジナリティを出していけたらいいのではないのでしょうか。

[会長] 前回の次世代育成支援行動計画もそうでしたが、国のひな型があるために、そこは変えられない部分があります。そうすると、自由記述欄がとても重要になってきます。意見分布があるというのは、計画を策定していく上で大事なので、皆さんの声をダイレクトに届けるために、サービスを利用している人などに現状や要望を自由に書いていただくよう、保護者会等で呼びかけるのも、一つの手ではないでしょうか。それでは、設問内容について進めていきたいと思います。

[委員] 1 ページの保育所の定義が、「児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設」となっていますが、保育の部分を養護と教育というような文言に変えていただけたら、と思います。善通寺市の保育所は、幼稚園に引けをとらない教育内容を意識して日々の保育活動をしておりますので、養護と教育に変えるほうが善

通寺市の保育所の実態を表した定義になると思うのですが、いかがでしょうか。

[事務局] はい、そのように変更いたします。

[委員] 3 ページの間 10-1 に、子育て支援施設（地域子育て支援センター）と書かれていますが、子育て支援施設はそこだけではありません。また、12 ページの間 22-1 に地域子育て支援拠点等とありますが、善通寺市ではこういう名称は使われていません。ここでは、つどいの広場と地域子育て支援センターと明記するほうが、アンケートに答えていただく方に分かりやすいと思うのですが、どうでしょうか。

[事務局] 確認して、表記の修正、統一をいたします。

[委員] 6 ページの間 14-1、幼稚園の預かり保育のところにカッコ書きで補足説明がありますが、これは善通寺市スタディアフタースクールと一言書けば良いと思いました。また、認可保育所とその他の認可外の保育施設と表記されていますが、私の子どもが通っている私立保育所はどちらか迷います。実際 7 ヶ所しかないので、保育所の名前を明記してはどうですか。あと、幼稚園のところの通常の就園時間の利用にしても、具体的な時間を記入するほうが分かりやすいと思います。幼稚園の預かり保育の件に戻りますが、善通寺市スタディアフタースクールと明記することによって、幼稚園に入る前の保護者にもその名称を周知できるのではないのでしょうか。

[委員] 認可保育所が、幼稚園の預かり保育の後になるのがよく分かりません。預かり保育は幼稚園に含まれるもので、並列ではないわけですね。

[事務局] では、幼稚園の預かり保育の前に認可保育所を持ってきて、認可保育所の名称も全て記載します。そして、おおむねの利用時間、幼稚園の預かり保育の部分に善通寺市スタディアフタースクールであることも書き込みます。

[委員] 8 ページの間 16 につどいの広場（くすくす）とありますが、正式名称は（子育て広場くすくす）なので、訂正をお願いします。それから、子育てほっと com の com は大文字です。あと、同じく間 16 の事業名に保育所での園庭開放を入れていただきたいのですが、前回の会議でお話ししたとおり、園庭開放に行かれる方がかなり多いものですから。

[事務局] つどいの広場、子育てほっと COM の名称は修正いたします。また、園庭開放につきましては、間 17 に記載しております。

[委員] その間 17 の子育てホームヘルプサービスですが、11 ページの間 21 にある、利用

している事業には入ってこないのですか。

[事務局] 問 21 は、一時預かり等の事業の利用についての質問で、子育てホームヘルプサービスは預かり事業に含まれるものではなく、24 時間対応の家庭保育となります。

[委員] 7 ページの問 15 に、「なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します」と書かれていますが、前回の会議で国の調査票のイメージをいただいたときには、(自治体における料金設定を示す) という一文がありました。今回それがなくなっていますが。

[事務局] 善通寺市の利用者負担の料金一覧表を付けないので、そういった書きぶりにしております。多岐に渡りますので。

[委員] 利用しようとなったときに、やはり料金のことも気になるでしょうから、別紙で付けていただくほうが良いのではないかと思うのですが。

[事務局] たとえば、認可保育所では、所得の状況に応じていろいろなパターンや段階が発生するので膨大な量になり、掲載するのは大変難しいかと思えます。

[委員] 実際、子育て広場くすくすで親御さんとお話しすると、保育所は所得に応じて保育料が変わるのをご存知でも、私立も公立も同じ保育料だとはご存知ない方が多いことに気付きます。やはり、金額を明確にするほうが良いのではないのでしょうか。

[事務局] たとえば、事業所内保育施設になると全く我々が関知できない部分になります。全ての施設について網羅できないなか、認可保育所と幼稚園だけの金額を載せても良いものかと思ひまして、このような書きぶりにさせていただいたわけです。

[委員] 国の調査票のイメージでは、認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています、という記載があったので、やはり入れていただけたら、と思います。

[事務局] はい、その文言は入れるようにいたします。

[委員] アンケートに答えてみて、たとえば 8 時 30 分の場合、8 時か 9 時のどちらにするかで相当悩むので、30 分刻みで書けるようにしてもらえませんか。

[事務局] その辺りは配慮しまして、30 分刻みで書けるようにするというよりは、たとえば回答が 7 時 30 分の場合は 7 時とお書きください、のように一文を付けます。

[委員] 8 ページの問 16 では各事業の月ごとの利用回数を聞かれています。とても困ります。毎月には利用しない事業もありますし、過去に利用していても今は利用していない事業もあります。その場合、今年度内で考えても良いのですか。

[事務局] 実は、ここは必須の項目で、国の調査票案が分かりにくい形であったため、少しでもお分かりいただけるように表形式で工夫をしたところなのですが。

[会長] ここは、説明文で補うしかないですね。たとえば、過去に利用したことがあれば、現在は利用していなくても月に何回行っていたかをご記入ください、というような。

[事務局] それでは、補足文章で対応させていただきます。また、補足文章と併せて1年というくくりを設けたいと思います。

[委員] 10 ページの問 20-1 にも子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に親が休んだ日数を聞かれています。細かい日数まで覚えていません。1~3日、4~6日など、ひとかたまりの数字のなかから○を付ける形式なら何とか分かるかもしれませんが、子どもが複数いる家庭では逐一覚えていられないのが現状です。問 20-2 も同様です。病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数を聞かれても、病気が治るまでの期間も仕事を休める日数も予想できません。この日数のところがとても書きにくいのですが。

[事務局] おっしゃっていることはよく分かるのですが、日数というものがニーズ量に直接かわるところですので、1~3日などと数字を曖昧にするのは難しいかと思います。書きづらいことは重々承知しており申し訳ないのですが、必須項目ですので、何とぞご理解願います。

[会長] 問 20-2 は病児・病後児保育施設等の利用希望日数なので、子どもが病気やけがをしたときに、仕事を休むことができない人がどのくらいの日数を利用したいかを聞いているのだと思います。職場の状況も鑑みて、たとえば自分で面倒を見られるのが2日、親に頼めるのが2日とすれば、残りは保育施設で10日が理想だなどのように、想像で書いてもらおうしかないでしょうね。

[委員] 病児・病後児保育施設を利用したいが、その方法が分からずに利用できない人もいます。その辺りを自由記述で具体的に聞く項目があっても良いと思うのですが。何らかの理由で、結局利用をあきらめている人の声を拾い上げていく必要もあるのでは。

[会長] 問 20-2 の、「利用したいとは思わない」の下に理由を書いてもらう欄を設けては

どうですか。明らかに利用する気持ちがない人は別にして、本当は利用したいがそれまでにはいたらない、そういった中間層をどのように拾うかですね。

[事務局] ここは本来必須の質問なのですが、問 20 の「なかった」の下に理由を尋ねる自由記述欄を設けるか、検討したいと思います。ただ、この設問では、利用したいと思わない意見を吸い上げたいのではなく、病児・病後児保育施設を利用したい人のニーズ量を知りたい部分ですので、必要かどうかを含め検討します。

[委員] 問 20 で「なかった」と答えた人は、問 20-2 の質問に飛ぶようにしてはどうでしょう。そうすれば、お子さんが病気やけがで通常の教育や保育を受けられなくなったときに、病児・病後児保育施設を利用したいのか、それとも利用したくないかが分かる質問になると思うのですが。

[会長] この件についても、宿題という形にしましょう。

[委員] 17 ページ、問 33 の項目 13 は、「子育て支援に関する総合的な情報提供をより充実させること」となっています。ここにサービス利用者支援という言葉を入れ込み、具体的に明記したほうが良いと思うのですが。

[事務局] その辺りは、総合的な情報提供に含まれると思いますが、別に出したほうが良いですか。

[委員] 情報提供と利用者支援とは違うと思います。その人のニーズに合わせて、たとえばコーディネーターが動くのが利用者支援なので、情報提供とは中身が異なります。

[会長] 流しっぱなしが情報提供で、その流れている情報を使って上手く利用者につなげてあげるのが、利用者支援ということですね。

[委員] 国も支援事業の 52 条で利用者支援についてふれているので、具体的に記載していく方向が望ましいと思っています。あと、同じく問 33 ですが、できれば項目を増やして、17 番目に図書館の整備を充実させるという記載を入れてほしいと思います。前回、事務局からいただいたアンケートの自由記述のなかにも図書館の子ども用スペースを考えてほしい、少し話ただけで注意された、もっと快適に過ごしたいという希望がありました。実は、これは私の子どもたちが小さいときから望んでいることです。本の貸出率を向上させたいのであれば、環境整備が大事なので、この辺りも挙げていただきたいと思います。

[事務局] 利用者支援の文言は挿入いたします。図書館の方は、教育委員会とも検討という事

になります。

[委員] 13 ページの間 24、スタディアフタースクールについて、注釈で「地域によって学童保育や放課後児童クラブなどと呼ばれています」と書かれていますが、善通寺市ではスタディアフタースクールと呼んでいますので、善通寺市における預かり保育のことです、と書けば分かると思います。また、14 ページの間 26 で、スタディアフタースクールについて土曜日と日曜・祝日、長期の休暇期間中の利用希望を聞いていますが、現在、家庭に帰すことも考えて日曜・祝日は実施していません。今は1年生から3年生を主に預かっていますが、学年の幅を広げるため土曜日と長期の休暇期間中の利用についての質問があるのは分かります。でも、日曜・祝日の利用希望を聞いているのは、ニーズがあれば実施していくとお考えの上で尋ねられているのですか。

[委員] 公務員の人は、原則土日がお休みですが、パートタイムで働いている人などは土日に出勤するケースも多いので、日曜・祝日も預かってもらえたら助かる、という声も聞くことは聞きます。ただ、本来の目的である、家庭に帰すのも分かります。

[委員] どこまでを子育て支援ととるかですよ。

[委員] 本当に必要なのかも考えるべきだと思います。

[委員] 現在、土曜日と長期の休暇期間中の支援は割とできていると思います。

[委員] 日曜・祝日が休みの家庭ばかりではないと思います。どこまで対応するのか、難しいですね。

[委員] 日曜・祝日に預かってもらえないと知っているから、平日に働くことを選択している方もいると思います。

[委員] 本来の支援として必要なのか、支援があるから気軽に利用するのか、反対に利用し過ぎて、それが子どもにとって本当に支援になっているかが問題だと思います。

[事務局] そこは幼稚園も保育所も一緒だと思います。お仕事の都合やご家庭の事情があっても夜遅くまで預かるのが良いかどうか、問題はありますが、保護者の方がどのようなご要望をお持ちかを聞かせていただきたいと思います。設問を設定しているところですが。

[委員] 休日保育を実施していますが、定期的なご利用がほとんどで、たまにお問い合わせがあっても料金などの話をすると、切羽詰まっていな方はご利用にいらないうケースが多いです。

[会長] このアンケートは、さまざまな声を拾うことが目的です。日曜・祝日に、ぜひとも利用したいと思っている人もいないわけではないでしょうから、実際の運用とは必ずしも一致しなくても構わないと思います。

[委員] 16 ページの間 31 に、「学校などの公共施設が子どもにとって安心できる場だと思いますか」とありますが、就学前児童用対象調査なのに学校だとおかしいのでは。幼稚園や保育所に直すほうが適切では。

[事務局] ここは、文言を訂正させていただきます。

[委員] 問 31 の障害の害の字は、ひらがなでお願いします。

[事務局] はい、分かりました。

[委員] 現在、スタディアフタースクールでは特別な理由がない限り、高学年児童は預かっていませんよね。ですが、特別な理由がなくても預けたいというニーズがあるかどうかの調査ですか。ニーズが多ければ、高学年児童も預かるようになる可能性が出てきますか。

[事務局] 条例上は3年生までになっていますが、高い要望があれば、現状に合わせていきたいと教育委員会も言っていますので、この部分はお聞きしたいところです。

[会長] 実際のところ、子どもの数が減っているので、スタディアフタースクールも現在はおおむね3年生までですが、6年生までの引き上げを考えなければいけない時期に来ていると思います。日曜・祝日の利用にしてもいろいろな見解はありますが、各家庭の状況もふまえるべきですし、思ったとおりに書いてもらって良いのではないのでしょうか。

[事務局] 書きぶりや、先ほどの日曜・祝日の部分につきましても、再度教育委員会に確認し、すり合わせを行い、調整いたします。このままになるかもしれませんが、書きぶりを変えたり、欄を外すことがあるかもしれませんが。

[会長] 素直に、思ったことや感じたことを、自由記述で書いていただくのが一番だと思います。少数意見でも、重要なものはたくさんあるので。

[委員] 自由記述欄はアンケートの最後にしかありませんが、こういった形にしたのには、何か意図があるのですか。

[事務局] 最後にまとめて自由記述欄を設けた理由としましては、そうでなくても膨大な量になるのに、その都度その都度入れては、負担になるかと判断しています。

[委員] このアンケートに答えるのに 50 分かかりました。最後にまとめて自由記述欄があっても、気力がなくなったり、書こうと思っていたことを忘れてしまうので、中間地点辺りにも持ってくるのはどうですか。

[委員] たとえば、スタディアフタースクールについての質問に答えているときに、その最後に自由記述欄があれば、頭がスタディアフタースクールのモードになっているから、意見やアイデアを出しやすいと思います。

[委員] 自由記述欄の罫線の間隔が、もう少し狭いほうが良いのでは。

[事務局] 罫線は、削除します。また、設問の多い就学前調査では、息抜きにもなりますので、中間での自由回答欄も作成します。

[委員] 小学生児童用対象調査の 8 ページ、問 19 で、「仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか」と聞かれています。ここで、困っていることについても聞いていただければ、と思います。

[事務局] 大変だと感じることは何ですか、ではなく、困っていることは何ですか、に文言を変えましょうか。

[委員] そうですね。あと、この問 19 に、自分のための時間が持てない、という項目があっても良いと思うのですが。

[事務局] 先ほどの、図書館の整備を充実させることにしてもそうですが、前々回から前回へと、ずっとつながってきた質問です。全く新しいデータとして確認したいという意味で入れられないことはないのですが、その他の項目がありますので、そちらに記載いただきたいと思いますが。

[委員] プライベートの生活には、子どもも含まれていると思います。自分のための時間、というのは、育児以外の時間ですよ。

[会長] プライベート（育児以外）としてはどうですか。

[委員] 家事（育児）の時間を優先、というのも気になります。家庭の時間を優先、とい

うように変えてはいかがでしょうか。そして、プライベートの生活を優先、を自分のための時間を優先、と変えれば分かりやすくなると思います。

[事務局] こちらの設問については、今のご意見を踏まえ検討いたします。

[委員] ひとり親支援に関する記述が、どこにも入っていないのが疑問です。

[事務局] ひとり親かどうかは問5で回答していただきますので、その方がどのような環境で、どういう意向をお持ちかは分かります。

[委員] ですが、たとえば問24のなかに、ひとり親支援のサービスを充実させるというような記載がありません。

[事務局] 大変申し訳ないのですが、ここは前回の質問を継承してきている部分ですので、項目を増やすのは難しいかと思えます。ひとり親の方がどれほどおられるかは問5で確認できますし、善通寺市でも当然その支援としまして、手当や医療費の助成などを実施しております。ひとり親の方がどの子育て支援サービスを重要視されているかは問24で分かりますし、もし、それ以外のことを望まれているのであれば、その他のところに自由記載でお願いしたいと思えます。

[会長] 今回の計画は、前回の次世代育成支援行動計画のような視点とは少し違うので、ひとり親支援などについては、理論的に入りにくいところがあると思えます。ただ、ひとり親は増えており、支援の必要性があるので、クロスを書けてそこからある程度抽出していくしかないのでは。長い間ご議論いただきましたが、今回は、特に保護者代表の委員さんから実際にアンケートを書く立場のご意見をお聞きすることができて、非常に良かったと思えます。やはり、回収率を上げるためには書く人の視点で議論を進めることが大事ですので、ありがとうございました。

[委員] この調査票が届くかどうかは、事前に分からないのですか。

[事務局] はい、突然来る形です。

[会長] 子育てほっとCOMで、知らせては。

[事務局] 検討してみます。

[委員] こういう物が届きます、ということで市の広報などに調査票の写真を載せてもらえれば、安心かと思えますが。

[事務局] 広報は明日発行ですので、間に合わない状況です。ただし、調査票は、小学校や保育所から配布されますので、少しはご安心かと思えます。また、紛失された方も、おそらく小学校や保育所で新たに受け取ることができるかと思えます。それから、本日いただいたご意見になるべく沿うように修正・検討いたしますが、もう一度検討するためにお集まりいただく時間がございません。それで、できる限りご意向に応える方向で修正を行い、それを郵送しまして、その上でもし何かありましたらお電話なり何なりでご意見を伺う形にさせていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

[会長] 次回は、調査票の回収が終わってある程度データが出てからですので、来年になります。また子ども課から連絡が行くと思えますので、その際にはよろしく願います。では、これにて終了します。ありがとうございました。

以上